

ちゅうぴ
お墨付き

知立のヨコが スゴイ!!!

市民が語るまち自慢!

ココスゴ
ポイント

1

五千円札の
かきつばたは
知立市のモノ!?

へ〜



普段何気なく使用している5千円札。その裏面には尾形光琳が描いた国宝「燕子花図」が描かれています。実物の「燕子花図」は東京の根津美術館でしか見ることができませんが、かきつばたまつりの期間中のみ八橋史跡保存館でレプリカを見ることが出来ます。

平安の歌人にも詠まれた見事なカキツバタですよ!



ココスゴ
ポイント

2

毎年恒例!!
パティオの
クリスマス

パティオ池鯉鮒では、天候を気にせず楽しめる屋内型イルミネーションを毎年開催しています。手作りのあたたかみのあるイルミネーションとプロジェクションマッピングが幻想的空間を演出。期間中はクリスマスコンサートをはじめ、別途有料でクリスマスにぴったりの工作教室も行っています。小さい子ども連れや車椅子での来場でも安心です。



3

コスゴ
ポイント

県内で一番長いかも!!

知立中学校の 長い廊下

市内にある知立中学校には全長約150メートルの長い廊下があります。市内のほかの中学校と比較するとその差は歴然!ほかの中学校が1フロアに6、7教室なところ、知立中学校ではその倍!

日本で一番ではないとのことですが、ベテランの先生方に聞いてもここまで長い廊下は見たことがないとか。何度か実施された校舎の増築で東西に校舎が伸びていき、それに伴って現在の長さに。過去には生徒会主催の雑巾がけレースが開催されていたとか。



廊下が長いので
生徒自ら
5分前行動を
徹底しています!

4

コスゴ
ポイント

江戸時代から知立名物!! あんまき



世界で1つだけの
オリジナルあんまきを
作ることができるだっぴ



明治20年頃に鉄道の東海道本線が開通しました。それまで庶民は、あんこは高級品で食べることができず、あんまきの小麦粉の皮の部分だけを食べていたそうです。しかし、物流が盛んになることで、庶民でもあんこに手が届くようになりました。そこで、今まで食べていた皮にあんこを巻いて食べてみたところ美味しかった、というところからあんまきが誕生したそうです。

その後も東海道を歩く旅人がお茶を飲みながら休憩をする際にお茶とともに添えられたものが、あんまきでした。それからあんまきは知立の名物となっていくとされています。

5

コスゴ
ポイント

ちりゅつぴ
ゆるキャラGP

全国2位

市内外の多くの皆さんの応援のおかげで、ゆるキャラグランプリ2017において、ちりゅつぴは準グランプリを獲得することができました。

応援
ありがた
だっぴ!



PR部長 北川綾巴の 知立小ネタ情報



給食に
「天ぷらあんまき」が
出たことも
ありました!